独立行政法人
大学改革支援・学位授与機構
National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

機構ニュース

Vol.238　2023 April

今月の記事

Top News

○ 令和４年度大学等の質保証人材育成セミナー第４回「高等教育と生涯学習を横断する質保証─資格枠組みとデジタル資格証明のいま─」を開催 ・・・・・・・・・1

評価事業

■ 大学機関別認証評価等について

○ 令和４年度実施大学機関別認証評価の評価結果について ・・・・・・・・・3

○ 令和４年度実施大学機関別選択評価の評価結果について ・・・・・・・・・3

■ 高等専門学校機関別認証評価について

○ 令和４年度実施高等専門学校機関別認証評価の評価結果について ・・・・・・・・・4

○ 令和４年度実施選択的評価事項に係る評価の評価結果について ・・・・・・・・・5

■ 法科大学院認証評価について

○ 令和４年度実施法科大学院認証評価の評価結果について ・・・・・・・・・6

■ 国立大学法人等の教育研究評価について

○ 国立大学法人等の第３期中期目標期間における教育研究の状況の評価結果について ・・・・6

調査研究

■ 著書紹介

○ 「生物学的な性」という見方をアップデートせよ！ ・・・・・・・・・7

学位授与事業

○ 23人に博士の学位を授与
　－大学院博士課程相当の課程修了者－ ・・・8

○ 1,085 人に学士の学位を授与
　－学部相当の課程修了者－ ・・・・・・・・・9

○ 15人に修士の学位を授与
　－大学院修士課程相当の課程修了見込者－ ・・・・・・・・・10

○ 3人に博士の学位を授与
　－大学院博士課程相当の課程修了見込者－ ・・・・・・・・・10

機構の窓

○ 新型コロナウイルス感染症対策について ・・・・・・・・・11

主要行事日程

○ Schedule（４月～６月） ・・・・・・・・・12

TOP NEWS

○　令和４年度大学等の質保証人材育成セミナー第４回「高等教育と生涯学習を横断する質保証―資格枠組みとデジタル資格証明のいま―」を開催

令和５年３月13日（月）に、令和４年度大学等の質保証人材育成セミナー第４回をオンラインで開催しました。

当機構では、平成29年度より大学等の質保証活動を実効性のあるものとするため、大学等と評価機関が連携して質保証に関わる人材の能力向上を支援することを目的として、「大学等の質保証人材育成セミナー」を開催しております。

令和４年度は、「高等教育と生涯学習を横断する質保証」をテーマに、年度内に4回開催しました。

第４回は、「資格枠組みとデジタル資格証明のいま」を副題とし、当機構研究開発部の野田文香准教授、坂口菊恵教授、OpenID ファウンデーション・ジャパンの富士榮尚寛代表理事、大阪教育大学理数情報教育系の堀真寿美特任教授、明治大学国際日本学部の大須賀直子教授５名による講演が行われました。

講演では、野田文香准教授より、まず、日本における資格枠組みの試案が示され、その後、国内外における履修証明のデジタル化、通用性の担保に向けた取組や民間資格が高等教育機関における正規単位として利活用されている現状について概観し、学修履歴データの通用性担保と質保証に向けて、取り組むべき課題を議論しました。

講演後のQ＆Aや全体ディスカッションでは、参加者から寄せられた質問への回答を交えながら、日本が今後取り組むべき方向性について、熱心な議論が交わされました。

大学等の教育機関教職員を中心に170名の参加（視聴）がありました。

当日の資料及び動画は、当機構ウェブサイト及び大学質保証ポータルに掲載予定です。

【セミナーの概要】

- 実施日：令和５年３月13日（月）
- 開催方式：オンライン開催（Zoomウェビナー）
- 参加状況：参加者：170人
- プログラム構成
  - ①　講演
    「日本における資格枠組み（QF）の可能性」
    研究開発部　野田 文香　准教授
  - ②　講演
    「学修履歴データの通用性担保に向けた国際動向」
    研究開発部　坂口 菊恵　教授
  - ③　講演
    「デジタル資格証明に関する技術標準」
    OpenID ファウンデーション・ジャパン　富士榮 尚寛　代表理事

④　講演

「生涯学習に活かすデジタルバッジ ―初等中等教育教員研修の現場から」

大阪教育大学 理数情報教育系 堀 真寿美 特任教授

⑤　講演

「民間英語検定は大学の語学教育でどう活用されるか」

明治大学 国際日本学部 大須賀 直子 教授

⑥　全体ディスカッション

評価事業

■大学機関別認証評価等について

○　令和４年度実施大学機関別認証評価の評価結果について

当機構では、令和４年度に実施した大学機関別認証評価の評価結果を評価報告書として取りまとめ、当該大学及びその設置者へ通知するとともに、文部科学大臣に報告しました。

今回、認証評価を実施した全ての大学が、大学設置基準をはじめ関係法令に適合し、当機構の定める大学評価基準に適合しているとの評価結果となりました。

なお、対象大学ごとの評価結果については、全体を通じての概要等を加え「令和４年度に機構が実施した大学機関別認証評価の評価結果について」として当機構のウェブサイトに掲載するなど、広く社会に公表しています。

＜対象大学＞

【国立大学】

・北海道教育大学
・宇都宮大学
・群馬大学
・東京大学
・福井大学
・滋賀医科大学
・島根大学
・山口大学
・香川大学

【公立大学】

・秋田県立大学
・東京都立大学
・大阪府立大学
・九州歯科大学
・福岡女子大学

【私立大学】

・日本社会事業大学
・光産業創成大学院大学

○　令和４年度実施大学機関別選択評価の評価結果について

当機構では、令和４年度に実施した大学機関別選択評価の評価結果を評価報告書として取りまとめ、当該大学及びその設置者へ通知しました。

今回、選択評価を実施した大学の評価結果は、次のとおりとなりました。

＜評価結果＞

○選択評価事項Ａ「研究活動の状況」（１大学）

【公立大学】

・大阪府立大学　　　　目的の達成状況がおおむね良好である

○選択評価事項Ｂ「地域貢献活動の状況」（１大学）

【公立大学】

・大阪府立大学　　　　目的の達成状況がおおむね良好である

※評価結果の表記について

評価結果	判断の際の考え方
目的の達成状況が極めて良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況が非常に優れており、目的に照らして達成状況が極めて良好であると判断される場合
目的の達成状況が良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況が優れており、目的に照らして達成状況が良好であると判断される場合
目的の達成状況がおおむね良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況に改善すべきところはあるが、目的に照らして達成状況がおおむね良好であると判断される場合
目的の達成状況が不十分である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況に大きな問題があり、目的に照らして達成状況が不十分であると判断される場合

なお、対象大学ごとの評価結果については、全体を通じての概要等を加え「令和４年度に機構が実施した大学機関別選択評価の評価結果について」として当機構のウェブサイトに掲載するなど、広く社会に公表しています。

■高等専門学校機関別認証評価について

○ 令和４年度実施高等専門学校機関別認証評価の評価結果について

当機構では、令和４年度に実施した高等専門学校機関別認証評価の評価結果を評価報告書として取りまとめ、当該高等専門学校及びその設置者へ通知するとともに、文部科学大臣に報告しました。

今回、認証評価を実施した全ての高等専門学校が、当機構の定める高等専門学校機関別認証評価基準に適合しているとの評価結果となりました。

なお、対象高等専門学校ごとの評価結果については、全体を通じての概要等を加え「令和４年度高等専門学校機関別認証評価実施結果報告」として当機構のウェブサイトに掲載するなど、広く社会に公表しています。

＜対象高等専門学校＞

【国立高等専門学校】

・富山高等専門学校

【私立高等専門学校】

・サレジオ工業高等専門学校

○　令和４年度実施選択的評価事項に係る評価の評価結果について

当機構では、令和４年度に実施した選択的評価事項に係る評価の評価結果を評価報告書として取りまとめ、当該高等専門学校及びその設置者へ通知しました。

選択的評価事項に係る評価は、認証評価を実施した高等専門学校のうち、希望のあった高等専門学校について実施し、当該事項に関わる対象高等専門学校の有する目的の達成状況について評価しました。

＜評価結果＞

○選択的評価事項Ａ「研究活動の状況」（２高等専門学校）

【国立高等専門学校】

・富山高等専門学校　　　　　目的の達成状況がおおむね良好である

【私立高等専門学校】

・サレジオ工業高等専門学校　目的の達成状況がおおむね良好である

○選択的評価事項Ｂ「地域貢献活動等の状況」（１高等専門学校）

【国立高等専門学校】

・富山高等専門学校　　　　　目的の達成状況がおおむね良好である

※評価結果の表記について

評価結果	判断の際の考え方
目的の達成状況が非常に優れている	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況が非常に優れており、目的に照らして全体の達成状況が非常に優れていると判断される場合
目的の達成状況が良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況が優れており、目的に照らして全体の達成状況が良好であると判断される場合
目的の達成状況がおおむね良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況に改善すべきところはあるが、目的に照らして全体の達成状況がおおむね良好であると判断される場合
目的の達成状況が不十分である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況に問題があり、目的に照らして全体の達成状況が不十分であると判断される場合

なお、対象高等専門学校ごとの評価結果については、全体を通じての概要等を加え「令和４年度選択的評価事項に係る評価実施結果報告」として当機構のウェブサイトに掲載するなど、広く社会に公表しています。

■法科大学院認証評価について

○ 令和４年度実施法科大学院認証評価の評価結果について

当機構では、令和４年度に実施した法科大学院認証評価の評価結果を評価報告書として取りまとめ、当該法科大学院を置く大学及びその設置者へ通知するとともに、文部科学大臣に報告しました。

今回、認証評価を実施した法科大学院５校のうち、４校の法科大学院が評価基準に適合しており、１校の法科大学院が適合していないとの評価結果となりました。

なお、対象法科大学院の評価結果については、全体を通じての概要等を加え「令和４年度に機構が実施した法科大学院認証評価評価結果について」として当機構のウェブサイトに掲載するなど、広く社会に公表しています。

＜対象法科大学院＞

【国立大学】

- 北海道大学大学院法学研究科法律実務専攻
- 一橋大学大学院法学研究科法務専攻
- 金沢大学大学院法学研究科法務専攻

【私立大学】

- 上智大学大学院法学研究科法曹養成専攻　※
- 愛知大学大学院法務研究科法務専攻

（※は、評価基準に適合していないとする評価結果になった法科大学院）

■国立大学法人等の教育研究評価について

○ 国立大学法人等の第３期中期目標期間における教育研究の状況の評価結果について

当機構では、文部科学省の国立大学法人評価委員会からの要請を受け、国立大学法人及び大学共同利用機関法人の第３期中期目標期間（平成 28 年度から令和３年度）における教育研究の状況の評価を実施し、令和５年３月に評価結果を取りまとめ、文部科学省の同委員会に提供しました。

最終的な評価結果は、令和５年３月 23 日に開催された同委員会で決定され、評価結果については、当機構のウェブサイトに掲載するなど、広く社会に公表しています。

＜対象法人＞

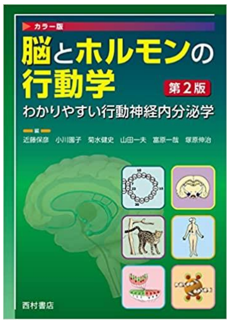
89 法人（国立大学法人 85 法人、大学共同利用機関法人４法人）

調査研究

■　著書紹介

○　「生物学的な性」という見方をアップデートせよ！

研究開発部　坂口菊恵



脳とホルモンの行動学
わかりやすい行動神経
内分泌学 第２版
西村書店
2023/3/2 刊
4,950 円

性の多様性に関する議論が行われる際に、「生物学的にはオスとメスの２つしかないのだから～」という表現を耳にすることが多くある。もし自己認識や身体的特徴、セクシュアリティがすべてパッキリとオス型かメス型かに分かれるのが自然界の生物の姿であるということを意味しているのであれば、それは明らかに誤りである。ダーウィンは『種の起源』を執筆するかたわら、雌雄同体と雌雄異体の両方が同一種内に含まれることがある、フジツボの研究に没頭していた。

サンゴ礁に住むサカナでは性別を移行する種が多く見られる。「ファインディング・ニモ」で有名なクマノミは雄性先熟であるため、グループの中でもっとも大きい個体がメスとなって二番目に大きな個体（オス）と生殖する。一番大きな個体が取り除かれると、二番目に大きな個体は性別移行をしなければならず、ただちになわばりを防衛するといったメスとしての性役割をにないはじめる。精巣が卵巣に置換するにはしばらく時間を要するため、脳や行動上の性別移行は、生殖腺やホルモンの性別移行に先んじて生じる。

現代において、ヒト以外の動物の同性間性行動や性別越境的な現象を図鑑的にとりまとめた書籍である、1998 年に出版された *Biological Exuberance: Animal Homosexuality and Natural Diversity* では、様々な伝統社会において両性具有である（から神聖である）という伝承のある生物を紹介し、動物行動学上の報告との照らし合わせも行っている。その結果ある程度の一致が確認され、生殖器が雌雄曖昧なことが通常であるか（ヒクイドリ）、もしくはそうした個体が多くみられたり（クマ、ブタ）、成長にともなって外見や行動上で性別移行のような現象を示したりする（アオアズマヤドリ、ゴクラクチョウ）生物が含まれていることが分かった。

すなわち、生物の性の発現が雌雄に単純に分けられるとは限らないことに、人間は長らく気づいていたし、ヒト以外の生物の生態においても、同性内で異なる性表現や繁殖戦略を示すものが見られることから、性にまつわる行動や身体表現のセットとして「ジェンダー」という考え方を導入する方が適切かもしれない。

すなわち、性行動は直接性ホルモンに影響されるというよりも、その種においてどのような性役割戦略を選択するかという手掛かりとしてホルモンは働いており、性役割戦略がどのようなものであるかは、社会環境によって変わりうる。本書において筆者が担当したのは１章のみ（「人間の性行動における生物学的基盤」）だが、国内においてもこうした新しい知見に対して関心が向くきっかけとなることを願っている。

学位授与事業

○ 23人に博士の学位を授与 －大学院博士課程相当の課程修了者－

令和４年９月に防衛医科大学校医学教育部医学研究科を修了した博士の学位授与申請者に対して、医学・薬学専門委員会において、論文審査及び口頭試問が行われました。

この審査結果に基づき、令和５年２月17日（金）開催の学位審査会において最終審査を行った結果、23人に対して学位を授与することを決定しました。

＜博士の学位取得者数＞

認定課程名	専攻分野	取得者数（人）
防衛医科大学校医学教育部医学研究科	医学	23

○ 1,085 人に学士の学位を授与　－学部相当の課程修了者－

大学の学部に相当する教育を行う課程として認定した課程の令和 5 年３月修了者から学士の学位授与の申請があり、学位審査会における審査の結果、1,085 人の申請者に学士の学位を授与することを決定しました。

＜学士の学位授与申請者数及び取得者数＞

認　定　課　程　名	専　攻　分　野	申請者数及び取得者数（人）
防衛大学校本科	理　学	36
	工　学	327
	社会科学	71
	人文科学	33
	計	467
防衛医科大学校医学教育部医学科	医　学	71
防衛医科大学校医学教育部看護学科	看護学	110
水産大学校本科	水産学	184
海上保安大学校本科	海上保安	54
気象大学校大学部	理　学	13
国立看護大学校看護学部看護学科	看護学	101
職業能力開発総合大学校総合課程	生産技術	85
合　計		1,085

○ 15 人に修士の学位を授与　－大学院修士課程相当の課程修了見込者－

令和５年３月に防衛大学校理工学研究科前期課程、同校総合安全保障研究科前期課程、水産大学校水産学研究科を修了する見込みの修士の学位授与申請者等に対して、理学、工学・芸術工学、社会科学及び水産学の各専門委員会において、論文審査及び口頭試問が行われました。

この審査結果に基づき、学位審査会において最終審査を行った結果、15 人に対して学位を授与することを決定しました。

＜修士の学位取得者数＞

認　定　課　程　名	専　攻　分　野	取得者数（人）
防衛大学校理工学研究科前期課程	理　　学	1
	工　　学	5
防衛大学校総合安全保障研究科前期課程	安　全　保　障　学	8
水産大学校水産学研究科	水　産　学	1
合　　計		15

○ ３人に博士の学位を授与　－大学院博士課程相当の課程修了見込者－

令和５年３月に防衛大学校理工学研究科後期課程、同校総合安全保障研究科後期課程を修了する見込みの博士の学位授与申請者に対して、工学・芸術工学及び社会科学の各専門委員会において、論文審査及び口頭試問が行われました。

この審査結果に基づき、学位審査会において最終審査を行った結果、３ 人に対して学位を授与することを決定しました。

＜博士の学位取得者数＞

認　定　課　程　名	専　攻　分　野	取得者数（人）
防衛大学校理工学研究科後期課程	工　　学	2
防衛大学校総合安全保障研究科後期課程	安　全　保　障　学	1
合　　計		3

機構の窓

○ 新型コロナウイルス感染症対策について

当機構では新型コロナウイルス感染症対策として、令和５年３月の機構主催の各行事について、以下のとおり対応を行い開催しました。

令和５年３月

開催日	行事名	対応	担当課
１３日	令和４年度大学等の質保証人材育成セミナー第４回	ウェブ開催	評価企画課
14日	高等専門学校機関別認証評価委員会（第４回）	ウェブ開催	評価支援課
14日	法科大学院認証評価委員会（第４回）	ウェブ開催	評価支援課
８日～16日	大学機関別認証評価委員会（第３回）	書面審議	評価支援課

主要行事日程

○ Schedule

４月

日	行事名	担当課
２０日	令和５年度学位審査会専門委員協議会	学位審査課
２５日	高等専門学校機関別認証評価検討ワーキンググループ（第６回）	評価支援課

５月

日	行事名	担当課
１９日	学位審査会（令和５年度第１回）	学位審査課

６月

日	行事名	担当課
１１日	令和５年度４月期学位授与試験（小論文）（東京地区、大阪地区）	学位審査課
１１日	令和５年度４月期学位授与試験（面接）（東京地区）	学位審査課

＊ 新型コロナウイルス感染症の状況により、上記のスケジュールについて変更、延期などの影響が生じる可能性がありますので、機構ウェブサイトに掲載される最新の情報をご確認ください。

独立行政法人
大学改革支援・学位授与機構
National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education